

## NEWS RELEASE

報道関係各位

2009年10月9日

**大塚ホールディングス  
対仏投資庁より「対仏投資賞」を受賞  
10月8日**

大塚ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO: 樋口達夫、以下「大塚ホールディングス」)は、「第6回 日仏投資賞授賞式」において、フランスの対仏投資庁(長官:ダヴィッド・アピア氏)より「2009年 対仏投資賞」を10月8日に受賞しました。

同賞は、直接投資によりフランスの経済発展に著しく貢献した企業に対し授与されるもので、日仏投資賞授賞式は2004年から毎年開催され、今年で第6回目を迎えました。10月8日に六本木アカデミーヒルズ(東京都港区)で開催された「第6回 日仏投資賞授賞式」には、駐日フランス大使 フィリップ・フォール氏、対仏投資庁長官 ダヴィッド・アピア氏、フランス貿易担当大臣 アンヌ・マリー・イドラック氏が出席し、大塚ホールディングスからは代表取締役社長 兼 CEO の樋口達夫が出席し、「対仏投資賞」を受賞しました。

大塚グループは、1921年に設立され、現在では「健康」に関わる事業を多角的に推進する「総合ヘルスケアカンパニー」としてグローバルに事業展開しています。フランスにおいては2004年に大塚製薬株式会社が医薬品販売子会社として大塚ファーマシューティカルフランスを設立しました。また、2008年には同社によるミネラルウォーター大手のアルマ社への資本参加や機能性食品、栄養食品大手のニュートリション エ サンテ社グループの完全子会社化など、医療・飲料・食品分野への積極的な投資による事業活動や雇用創出が評価され、今回の受賞となりました。

大塚ホールディングスは『Otsuka-people creating new products for better health worldwide』を企業理念とし、「実証と創造性」を共通の価値観として、健康に携わる企業にふさわしい文化と活力を育み、世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造してまいります。

大塚ホールディングス 代表取締役社長 兼 CEO 樋口達夫  
「対仏投資賞」受賞コメント

この度は、弊社グループのフランスでの事業および投資活動に対し、栄えある対仏投資賞を賜うことができ、対仏投資庁、在日フランス大使館経済部、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。また、歴史と伝統あるフランスという国が我々を受け入れてくださったということに対し重ねて御礼申し上げます。

大塚グループは、「世界の人々の健康をサポートする『総合ヘルスケアカンパニー』」を目指してグローバルに活動しております。大塚ファーマシューティカルフランス、ニュートリションエ サンテ社、そしてアルマ社を当社グループの欧州の重要拠点とし、今後の欧州事業展開をより一層加速させ、経済の発展と人々の健康に貢献していく所存でございます。

当社は、各国、各地域の文化、伝統を尊重し、事業を展開しております。地域に根ざした事業活動を行うためには、フランス政府をはじめ、地元関係者の皆様の協力がなによりも重要と考えておりますので、今後ともご支援賜わりますよう心よりお願い申し上げます。



(右)フランス貿易担当大臣 アンヌ・マリー・イドラック氏  
(左)大塚ホールディングス 代表取締役社長 兼 CEO 樋口達夫

対仏投資庁 (略称 AFII)

フランスへの国際投資誘致、進出企業向け支援を担当する国の機関。フランス国内および北米、欧州、アジア各国におかれた在外事務所を結ぶネットワークで機能している。フランス国内各地方の経済開発機関との緊密な連携により、最良のビジネス機会とそれぞれのニーズに応じたサービスの提供を行う。 <http://www.investinfrance.org/Japan/>

